

## 上田市教育委員会 6月定例会会議録

### 1 日 時

平成23年6月28日(火)

午後2時31分から午後4時まで

### 2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

### 3 出席者

#### 委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	金子 泰子
委 員	城下 敦子
委 員	小市 正輝
教 育 長	小山 壽一

#### 説 明 員

小市教育次長、小野塚教育総務課長、中村学校教育課長、浅野生涯学習課長、小山人権同和教育政策幹、土屋文化振興課長、佐藤体育課長、下村丸子地域教育事務所長、藤沢真田地域教育事務所長、掛川武石地域教育事務所長、倉島第一学校給食センター所長、足立中央公民館長、大滝上田図書館長、山崎西部公民館長、山寄城南公民館長、綿内川西公民館長

- ・ あいさつ

< 報告事項 >

( 1 ) 学校給食運営審議会の答申について

資料 2 により小野塚教育総務課長説明

城下委員

最終答申の報告だが、H 2 3 年 2 月 2 3 日の中間答申の段階でも教育委員会定例会に報告することが必要だったのではないかと。報告があれば、途中経過や市民の意見を注視することができる。

小野塚教育総務課長

一般の市民には、広報うえだに告知して中間答申書そのものをホームページに載せ、40 人ほどの意見が寄せられた。教育委員会は、最終的な答申を受ける立場であることから、中間答申でのお知らせはしなかった。

城下委員

6 月 7 日の最終答申を受け、今後のスケジュールはこれから詰めると思うが、おおよそ何年後かにこの段階までといったものはあるか。

小野塚教育総務課長

具体的なスケジュールで決まったものはないが、個別には、東塩田小学校の体育館改築に合わせて自校給食室をどうするかといった課題も出てきているので、早急に検討したい。

小市委員

民間委託については、具体的には詰めてないと思うが、どのような内容か。

小野塚教育総務課長

学校給食業務の中で委託できる部分は決まっているため、例えば、献立の立案や食材の発注は責任を持ってやらなければならない。委託内容としては、調理の委託、洗浄の委託、配送の委託などが考えられるが、他市町村を見ると、配送だけの委託もあれば、給食センター運営そのものについて調理から洗浄まで委託している所もあるので、上田市のセンター給食あるいは自校給食の実態の中で今後考えていかなければならない。

金子委員

センター給食方式から自校給食方式へと大きな舵切りだと思うが、将来を見通したものはあるのか。

小野塚教育総務課長

旧上田市の場合は、昭和54年当時の審議会答申に基づきセンター化を進めてきた経過があり、答申のとおりとすれば大きな方向変換となる。経費・人員の問題等、教育委員会だけでは決められず、市長部局と相談しなければならない。今後、検討しながら進めていきたい。

西田委員長

給食現場の責任者としてはどう考えるか。

倉島第一学校給食センター所長

今回の審議会答申は、調理方式をどうするかに注目が集まっているが、一番基本的な部分である理念について再度各施設及び学校で見直すことが第一である。調理方式などの問題は市全体で取り組んでいくが、現場では、すぐにできること、継続的にやっていくことを見極めながら取り組みたい。

西田委員長

市民の関心が高く、意見の分かれるところでもあるので、慎重な検討が必要である。よろしく願いしたい。

全委員 了承

## (2) 小中学校施設の耐震化状況について

資料3により小野塚教育総務課長説明

小市委員

印のある補強予定については老朽化や補強費用等を勘案する中で整備計画を変更する場合があるとなっているが、例えば、第三中学校は昇降口・渡廊下の $I_s$ 値が0.06であることに對して、その説明で納得が得られるのか。改築予定がなかなか組めない厳しい状況であると思うが、他の表現はできないのか。

小野塚教育総務課長

診断結果に基づいた表現とする中で、明らかに改築が分かっているものだけを改築

予定とした。0.06に対しても補強予定としてあるが、第三中学校については改築を視野に入れているので印をつけてある。この表は、あくまでも診断結果に基づいた正確な表現としていることをご理解願いたい。

城下委員

印の表示がないものについては、いつごろという記載はできないのか。

小野塚教育総務課長

補強工事だけで済むものについては、平成27年度までに補強工事をするとしてきたが、震災等の影響もあり早めたいという考えもある。今後、予算や実施計画で認められるか等の課題もあるが、補強できるものは1～2年のうちにやってしまいたいと考えている。

西田委員長

耐震補強にかけた費用はこれまでにどのくらいなのか、具体的にになった数字はホームページで公表してはどうか。今までどのくらいの費用をかけて、これからどのように予算を使うのかを一緒に公表すれば理解を得やすいと思う。

金子委員

予定とだけ書かれていると当事者は不安に思うだろう。例えば、1～2年のうちにと記されていれば違う。

小野塚教育総務課長

1～2年のうちにと入れたいが、実際にそのとおりに進むかどうかは決まっていないため、行政としては明確に言うことができない。

予算にも左右されるが、予算以外にも、例えば、実施設計の中で困難な問題が新たに出て、期限内にできない可能性もある。また、仮校舎を造るといった工程になれば事業費も増えるので、現時点では明確に書けない。

小市教育次長

震災の影響を受けて、理事者からも早くやらなければいけないとの指示を受けているので、多少遅れる部分があるかもしれないが、基本的にはこの1～2年の間にやるとご理解いただきたい。公表できるかは現時点では難しい。

城下委員

現場のお母さん方の悲痛な声もあるので、HPは無理でも学校長から話をする等、

工夫はできないか。

小市教育次長

検討したい。

西田委員長

公表の可否は別にして、この情報はそれぞれの学校に提示してあるか。

小野塚教育総務課長

この間の校長会で提示した。

城下委員

耐震化とは外れるが、学校ごとに防災危機管理マニュアルはあるか。地震が起きた際に誰が指揮官となってやるのか。

中村学校教育課長

すべての学校にマニュアルが準備されている。

城下委員

それは不審者対応ではなく、地震に対応できるものか。

中村学校教育課長

対応できるものである。

西田委員長

先日の東北の地震・津波で、地元の意見、実際に生活している上での長年の言い伝えや知識、生活習慣の中で身につけているものを、如何に学校のマニュアルの中に取り入れているか。そのことが結果を大きく左右したとの記事があった。PTAや地元とのすり合わせも必要だと思う。

全委員 了承

### (3) 城南公民館の建設について

資料4により浅野生涯学習課長説明

金子委員

旧施設の倍以上の面積ということであるが、具体的に増えたのは、どういう施設内容か。

山崎城南公民館長

1Fには、大ホール、図書・交流スペースがあり、新しくまちづくり活動拠点会議室ができる。地域の拠点ということで、勉強・ボランティア・PTA等の利用を望んでいる。部屋数も6部屋から13部屋になり、施設に関しては3倍の面積になった。

西田委員長

通路が狭く駐車スペースもなかったので、苦情があったと聞いている。今度は、両側が道路に接しているので使い良くなればいい。

川西公民館はこれから建設するが、上田市にある公民館をトータルで統一するようなトーン等、公民館を建設する上での統一された概念・発想はあるか。

浅野生涯学習課長

法的には定められている設備の基準がある。実際には、市町村が公民館を建てるが、地域によって要望もまちまちであり、地域性を生かした設計としている。特に統一性はない。また、面積については、区域ごとの世帯人口から割り出したある程度の基準を設けている。

西田委員長

シンボルマークのような、上田市の公民館だとわかるような統一された何かがあったら面白い。

全委員 了承

#### (4) 出前ときめきのまち講座について

資料5により浅野生涯学習課長説明

城下委員

この講座はいつから行っているのか。

浅野生涯学習課長

平成10年から開催された。

金子委員

南小には、放射能汚染に関する観測が県から来たようであるが、上田市として測定はしていないのか。

中村学校教育課長

上田市では、南小で使った簡易測定器を2～3台購入して、今後定期的に測定を行う考えである。県からは、7月半ばから各市町村の役場庁舎の屋上と、場合によっては教育委員会の指定する学校について行いたいとの通知が来ている。上田市全体としてどこを測定するか、明日、調整会議を行う予定である。

西田委員長

市民に関心を持ってもらえるようなPRもお願いする。

全委員 了承

#### (5) 「情報メディアと生活習慣」講演会の報告

資料6により浅野生涯学習課長説明

質疑意見なし

全委員 了承

#### (6) 丸子図書館の建設について

資料7により下村丸子地域教育事務所長説明

金子委員

平屋建てとのことだが、以前の図書館と比べて蔵書数はどれくらいになるか。

下村丸子地域教育事務所長

現在の丸子金子図書館の蔵書は、H22年度末で92,365冊である。新築される図書館は、114,059冊となる。

全委員 了承

#### (7) 川西地域自治センター（川西公民館）の建設概要について

資料8により綿内川西公民館長説明

質疑意見なし

全委員 了承

## (8) アーチェリー場事故の概要と再発防止について

資料9により佐藤体育課長説明

西田委員長

加害者及び被害者の間で、和解などで後を引いているようなことはないか。

佐藤体育課長

アーチェリークラブの代表者から報告を受けている内容では、2人共アーチェリークラブの会員で、矢を射た方も受けた方もそれぞれ自分側が悪かったとの認識である。当事者同士は円満にケリがついている。

警察では、傷害致傷の疑いでも捜査をしていたが、調査の結果、嫌疑なしとして不起訴になる見込みである。

金子委員

不幸中の幸いであった。矢が目や頭に刺さったらどうなっていたかと思うが、その後、矢を射るのと矢取りは完全に分けられたか。

佐藤体育課長

徹底している。

全委員 了承

## (9) 行事共催等申請状況について

資料10-1により中村学校教育課長説明

質疑意見なし

全委員 了承

資料10-2により浅野生涯学習課長説明

質疑意見なし

全委員 了承

資料 10 - 3 により土屋文化振興課長説明

質疑意見なし

全委員 了承

資料 10 - 4 により佐藤体育課長説明

質疑意見なし

全委員 了承

<その他>

資料「YAっHO - !」により浅野生涯学習課長説明

資料「第61回長野県図書館大会ご案内」により大滝上田図書館長説明

資料「公民館だより」により足立中央公民館長説明

西田委員長

閉会